

2017 えがお 愛顔つなぐえひめ国体

第72回国民体育大会 君は風 いしづちを駆け 瀬戸に舞え



第72回国民体育大会

ゲートボール競技会



平成 **29** 年 **9** 月 **2** 日(土)・**3** 日(日) 愛媛県松山市 北条スポーツセンター 球技場

◆主催  公益財団法人日本体育協会、文部科学省、愛媛県、 公益財団法人日本ゲートボール連合、松山市

Supported by

THE NIPPON
FOUNDATION

目 次

〔1〕 開催実施要項	1
〔2〕 大会役員	4
〔3〕 競技会役員	8
〔4〕 競技役員	9
〔5〕 競技運営要項	10
〔6〕 式次第	11
〔7〕 競技日程	12
〔8〕 都道府県別参加人員	13
〔9〕 競技会結果	14
〔10〕 協賛・協力企業各社	19
〔11〕 テレビ放送	19
〔12〕 会場図	23
記録写真	25

〔1〕開催実施要項

1 期 日 平成 29 年 9 月 2 日（土）から 9 月 3 日（日）まで（2 日間）

種 別	9 月 2 日（土）	9 月 3 日（日）
男 子	リ ー グ 戦	決勝トーナメント戦
女 子	リ ー グ 戦	決勝トーナメント戦

2 会 場 松山市 北条スポーツセンター 球技場

3 種別及び参加人員

種 別	監 督	選 手	チ ー ム 数	小 計	合 計（人）
男 子	1	8	16	144	288
女 子	1	8	16	144	

4 競技上の規程及び方法

(1) 競技規則

ア 競技は、公益財団法人日本ゲートボール連合公式ゲートボール競技規則による。

イ インサイドラインとアウトサイドラインの間隔は、50cm～1m とする。

(2) 試合の方法

ア 都道府県対抗形式により、種別ごとにリーグ戦、決勝トーナメント戦を行う。

① リーグ戦

16 チームを 4 チームずつ 4 つのグループに分け、グループごとにリーグ戦を行い、順位を決定する。
各グループの上位 2 チームが決勝トーナメント戦に進出する。

※リーグ戦の順位決定方法は、次の順序による。

a 勝ち数

b 得失点差

c 対戦結果

d a～c により決定しない場合は、抽選による。

② 決勝トーナメント戦

各グループの上位 2 チームによりトーナメント戦を行い、順位を決定する。

（3 位決定戦を行う。）

イ 競技終了時に両チーム同点で、チームの総得点の内容で勝敗が決定しない場合には、公式ゲートボール競技規則第 7 条第 2 項 2 による。

5 予選方法

(1) 本大会実施要項に準じて、各地域ゲートボール協議会において予選大会を実施して、本大会に出場すべき代表チームを決定する。ただし、本大会に出場できる都道府県は、各種別上限 1 チームとする。

(2) 地域ゲートボール協議会区分及び代表チーム数は、次表のとおりとする。

地域協議会	加盟都道府県名	男子	女子
北海道	北海道	1	1
東北	青森・岩手・宮城・秋田・山形・福島	2	2
北信越	新潟・長野・富山・石川・福井	2	2
北関東	茨城・栃木・群馬・埼玉	1	1
南関東	千葉・東京・神奈川・山梨	1	1
東海	静岡・愛知・三重・岐阜	1	1
近畿	滋賀・京都・大阪・兵庫・奈良・和歌山	2	2
中国	鳥取・島根・岡山・広島・山口	1	1
四国	香川・徳島・高知	1	1
九州	福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島・沖縄	3	3
開催県	愛媛	1	1
合計		16	16

6 参加資格、所属都道府県及びチーム編成

(1) 参加資格

- ア 公益財団法人日本ゲートボール連合加盟団体に登録された者で構成されたチームであること。また、チームには必ず監督を置くこと。
- イ 選手は、中学生を含まない平成14年4月1日以前に生まれた者とする。
- ウ 監督及び選手は、種別を重複して参加することはできない。
- エ 監督及び選手は、回数を同じくする大会において、異なる都道府県から参加することはできない。
- オ 監督は、公益財団法人日本体育協会公認スポーツ指導者制度に基づく、公認ゲートボール指導員の有資格者とする。

(2) 所属都道府県

監督及び選手の所属都道府県は、「居住地を示す現住所」、「勤務地」、「学校所在地」のいずれかが属する都道府県から選択することができるが、選択した同一の都道府県ゲートボール団体に登録していなければならない。

ただし、地域ゲートボール協議会における予選大会に参加し、都道府県の代表として既に決定した後、やむを得ぬ理由により上記条件を満たさなくなった場合、公益財団法人日本ゲートボール連合が認めた時に限り、予選大会参加時の都道府県から参加することができる。

(3) チーム編成

各都道府県の男子及び女子の代表チームは、単独、補強または選抜のいずれかの方法によりチームを編成する。

7 表彰

- (1) 各種別の第1位から第3位までの都道府県に、賞状を授与する。
- (2) 参加者には、大会参加記念章を授与する。

8 参加申込み方法

- (1) 所定の「参加申込書」に必要事項を記入の上、所属する都道府県加盟団体代表者の承認を得て、平成29年7月28日(金)までに下記宛に郵送で提出すること。

申 込 先	宛 先	提出部数
公益財団法人 日本ゲートボール連合	〒105-0001 東京都港区虎ノ門三丁目4番10号 TEL 03-5401-2251 FAX 03-5401-2252	1部

- (2) 参加申し込み後に変更が生じた場合は、所定の用紙に必要事項を記入の上、平成29年8月11日(金)までに、上記申込先に郵送で提出すること。(必着)

9 参加料

- (1) 監督及び競技者の参加料は1人当たり2,000円とする。
(2) 参加料は、申込提出時に所属する都道府県加盟団体を通じて納入する。

10 参加上の注意

- (1) 服装
ア 競技者は、公益財団法人日本ゲートボール連合が用意した打順の番号表示を着用しなければならない。
イ ユニフォームへの広告表示は認めない。
(2) チーム名は、単独、補強、選抜を問わず都道府県名を明示すること。
(3) 参加者は、各自の責任において健康管理に十分配慮の上参加すること。
(4) 競技中に負傷等が発生した場合は、主催者にて応急処置を行うとともに、主催者が加入する傷害保険の補償範囲内にて対応するが、以降の責任は負わない。
(5) 参加資格に違反等、その他不都合な行為があったときは、そのチームの出場を停止することもある。

11 個人情報の取り扱いについて

参加申込書(同意書を含む。)に記載された個人情報については、以下の愛顔(えがお)つなぐえひめ国体に関する業務に使用する。また、申込み時点で本人の同意が得られたこととする。

- (1) 愛顔(えがお)つなぐえひめ国体参加意思及び参加人数の確認
(2) 競技参加資格の確認(年齢、性別、所属、保護者の同意など)
(3) 参加案内等の送付
(4) 競技別プログラムの作成
(5) 賞状等の筆耕
(6) 競技の結果、映像、写真の記録業務への使用及び広報誌、インターネット等への掲載

12 その他

監督会議

日 時 平成29年9月1日(金) 午後3時

会 場 北条スポーツセンター体育館

〒799-2408 愛媛県松山市大浦86番地1

TEL 089-993-1900(代表) FAX 089-992-2065

〔2〕大会役員

平成29年8月10日現在
(順不同・敬称略)

名誉会長	林 芳正			
会長	伊藤 雅俊			
副会長	岡本 毅	遠藤 利明	泉 正文	鈴木 大地
	中村 時広	大亀 孝裕		
顧問	張 富士夫	森 喜朗	安西 孝之	猪谷 千春
	帖佐 寛章	日比野 弘	岡崎 助一	監物 永三
	ヨーコ ゼッターランド	平田 竹男	林 孝彦	具志堅 幸司
	長島 昭久	佐久間 重光	宇津木 妙子	有竹 隆佐
	坂本 和彦	田澤 俊明	荒川 政利	東地 隆司
	山本 誠三	久保田 文也	渡部 敏夫	辛木 秀子
	竹田 恆和	友添 秀則	坂本 祐之輔	佐藤 直子
	村田 芳子	比留間 英人	坂元 要	松崎 康弘
	菱沼 信夫	木村 新	中村 康夫	丸山 由美
	二木 英徳	弘田 充宏	堀内 光一郎	藤澤 信雄
	鈴木 修	篠宮 稔	市原 則之	大島 研一
	笠井 達夫	前原 正浩	宗像 豊巳	田中 英壽
	春田 恭彦	山本 正秀	山下 泰裕	高橋 清生
	今井 茂満	柴田 猛	田村 恒彦	福本 修二
	浪越 信夫	眞下 昇	尾形 好雄	山口 徹正
	宮崎 利帳	栗原 茂夫	建部 彰弘	片山 幸太郎
	本戸 歳知	中村 ゆり子	齋藤 良太郎	松橋 達生
	野端 啓夫	早坂 義弘	井上 弘	中西 由郎
	岡崎 温	永田 圭司	浪岡 正行	宮本 英尚
	村越 真	園山 和夫	山倉 和彦	衣笠 剛
	知念 かおる	伊部 廣明	田邊 哲人	京極 努
	中村 節夫	碓井 進	霜觸 寛	大沢 陽子
	高橋 光彦	佐藤 博俊	茂木 優	小川 潔
	佐藤 弘樹	堀口 卓司郎	飯田 道彦	野本 彰一
	青木 寛	並木 一夫	小野 力	岩波 輝明
	阿部 徹	丸山 隆義	老月 守	向田 和義
	宮塚 和彦	加藤 訓義	村木 啓作	世古 定
	木村 孝一郎	桂 千恵子	濱田 浩嗣	福井 基雄

山本 祥生	油野 利博	下岡 博司	梶川 政文
山本 航三	野村 雅史	原田 俊	分木 秀樹
川島 祥嗣	森下 博輝	東島 敏隆	荒木 健治
西村 浩二	井上 倫明	川崎 重雄	高城 国昭
渡嘉敷 通之	山田 登志夫	菊山 直幸	黒川 光隆
林 眞幾子	岡田 正治	堀部 定男	嶋岡 健治
久保 博	寺澤 正孝	日枝 久	吉田 和憲
大東 和美	森 正博	荒川 昇	佐藤 広
金子 正子	水落 敏栄	新妻 秀規	戸谷 一夫
小松 親次郎	藤原 誠	今里 讓	塩崎 恭久
村上 誠一郎	山本 公一	横山 博幸	山本 順三
井原 巧	山本 博司	毛利 修三	上甲 俊史
原 昌史	井上 正	増田 吉利	大城 一郎
清水 雅文	栗原 久子	程内 覺	横川 浩
青木 剛	田嶋 幸三	畔柳 信雄	大久保 尚武
横田 努	山根 明	木村 憲治	三屋 裕子
福田 富昭	河野 博文	三宅 義行	渡辺 佳英
橋本 聖子	安道 光二	藤重 貞慶	木下 宗昭
松尾 新吾	星野 正史	宗岡 正二	徳田 寛
綿貫 民輔	松丸 喜一郎	岡村 正	八木原 圀明
成田 昌憲	上月 良祐	笹川 堯	遅塚 研一
酒井 健	高橋 義博	佐藤 浩市	北川 薫
秋山 肇	椎川 忍	竹田 恆正	八田 英二
堀 達也	蝦名 武	鈴木 省三	小笠原 直樹
達増 拓也	吉村 美栄子	須佐 喜夫	角田 芳夫
福田 富一	渡辺 幸男	上田 清司	森田 健作
山本 博	鴻 義久	後藤 斎	馬場 潤一郎
石井 隆一	谷本 正憲	西川 一誠	阿部 守一
小野木 孝二	川勝 平太	大村 秀章	竹林 武一
河本 英典	武田 暹	牧野 明次	井戸 敏三
土佐 忠雄	仁坂 吉伸	溝口 善兵衛	越宗 孝昌
神出 亨	村岡 嗣政	飯泉 嘉門	多田野 榮
青木 章泰	小川 洋	山口 祥義	中村 法道
甲斐 隆博	広瀬 勝貞	佐藤 勇夫	三反園 訓
翁長 雄志			

参 与

木村 徹也	平井 明成	澤川 和宏	井上 仁
仙台 光仁	松下 行吉	中田 廣	逢坂 節子
戒能 潤之介	菊池 伸英	木村 誉	笹岡 博之
田中 克彦	寺井 修	中 政勝	西原 進平
帽子 大輔	松井 宏治	松尾 和久	三宅 浩正
横田 弘之	渡部 伸二	越智 忍	徳永 繁樹
福田 剛	福羅 浩一	本宮 勇	村上 要
赤松 泰伸	高山 康人	中畑 保一	梶谷 大治
高橋 英行	石川 稔	大石 豪	黒川 洋介
古川 拓哉	明比 昭治	塩出 崇	渡部 浩
岡田 志朗	西田 洋一	大西 誠	宇高 英治
鈴木 俊広	森高 康行	兵頭 竜	大西 渡
関 啓三	攝津 眞澄	丹下 敬治	清水 慶子
富永 誠司	俊野 健治	八十島 一幸	高橋 正浩
門田 泰広	西本 牧史	大森 尚子	山口 眞司
菅 豊正	田所 竜二	樋口 志朗	土居 忠博
中久保 憲彦	田中 英樹	高塚 眞志	福井 琴樹
佐伯 登志男	西村 誠明	森田 成之	内田 万美
藤井 晃一	大島 修一	杉野 洋介	林 学
野志 克仁	仙波 隆三	豊田 克文	今井 瑠璃男
白石 省三	森 正雄	芳野 敬三	大瀧 良子
乗松 秀樹	松岡 誠一郎	立石 淳	吉田 慎吾
畑野 智司	大橋 裕一	村上 友則	山本 恒久
本田 元広	廣瀬 了	服部 正	大塚 岩男
武田 健一	酒井 達夫	清水 一郎	久野 梧郎
河内 修二	岡部 國男	永井 裕二	大岩 金司
三好 康子	土居 英雄	井川 俊高	佐伯 要
篠原 実	島原 傳喜	高原 豪久	中山 紘治郎
檜垣 幸人	溝上 達也	森田 浩治	弓山 慎也
大野 敬三			
河内 由博	靱井 圭子		
菊 幸一	鈴木 浩二	飯坂 尚登	今井 純子
池田 めぐみ	川原 貴	坂井 利郎	三戸 一嘉
柴田 益孝	菅原 哲朗	友永 義治	松田 基子
松永 敬子	山本 浩	横田 匡俊	前島 斉

委 員 長

副 委 員 長

総 務 委 員

委 員

三井 勉	野上 文敏	加藤木 紳克	国久 敏弘
丹羽 治夫	甲谷 恵	石田 奈緒子	根本 聡
米山 隆	岩田 史昭	吉田 優子	寺尾 和祝
清水 貞之	田中 仁志	加藤 哲也	水口 洋
藤原 恵			
大嶋 康弘	高橋 聖一	植田 昌利	富田 政利
野崎 拓哉	山本 伊知郎	杉原 治	樋山 茂
小泉 芳孝	佐久間 裕司	野村 俊郎	畠山 睦夫
末柄 勝	末木 創造	舟喜 信生	江成 元伸
松倉 信裕	柳下 秋久	金崎 正久	小松 勝彦
藤熊 昇	伊藤 一人	松井 勲	丹藤 勇一
中野 秀也	鍵山 博	奥島 快男	磯村 幸二
西原 斗司男	津田 博司	日下 修次	木野内 毅
衛藤 敬輔	丸石 博	中段 亜由美	佐藤 直亮
山中 博史	竹中 雅彦	東 敏昭	関口 孝則
佐々木 健治	東野 真理子	佐野 俊輔	伊藤 圭悟
大石 陽子	川井 寿裕	平野 博紀	関 伸夫
成瀬 幸宏	大石 幸司	渋谷 雄輝	平林 秀彦
篠澤 尚人	安藤 喜章	石川 俊文	小澤 陽
中村 惣一	橋本 和也	齊藤 直樹	西田 伸生
安岡 誠司	赤坂 克洋	川田 哲也	長谷川 浩幸
相坂 讓	松本 文弘	鈴木 俊一	齊藤 讓
工藤 啓一郎	平藤 淳	百瀬 克浩	武田 浩一
藤田 知巳	市村 仁	田代 哲郎	新井 徹
依田 英樹	北林 栄峰	河野 和久	江藤 政克
今西 博一	片山 達也	西川 聡	内山 充栄
林 泰章	藤掛 賀津博	都築 直哉	石川 恵一朗
霊池 恵量	川原 三男	東浦 宏幸	中嶋 義基
村上 昌司	田中 実	小比賀 忠和	長島 良行
荒木 一聡	三原 耕治	新 貞二	後藤 裕明
佐藤 正範	有澤 寛	石井 孝典	松井 守
小原 博文	田上 敦則	佐川 英之	渡辺 浩三
中島 勝海	岡林 美津夫	寺崎 雅巳	梅野 哲雄
旗生 康之	山本 忠敬	西村 浩二	古木 克浩
岩元 幸成	瑞慶覧 康博	佐久本 嗣男	浅川 伸

〔3〕 競 技 会 役 員

名誉会長	野志 克仁	松山市長
会 長	椎川 忍	公益財団法人日本ゲートボール連合会長
副 会 長	塩出 卓一 土居 英雄 池田 和広	公益財団法人松山市体育協会 会長 愛媛県ゲートボール連合会長 愛顔つなぐえひめ国体・えひめ大会松山市実行委員会事務局長
顧 問	栗原 久子 藤田 仁	松山市議会議長 松山市教育長

参 与

白石 研策	田坂 信一	猪野 由紀久	池本 俊英	清水 宣郎	土井田 学	宇野 浩	森岡 功	丹生谷 利和
寺井 克之	友近 正	雲峰 広行	武井 多佳子	大亀 泰彦	菅 泰晴	渡部 昭	若江 進	上杉 昌弘
原 俊司	渡部 克彦	梶原 時義	小崎 愛子	武田 浩一	中村 嘉孝	大塚 啓史	吉富 健一	杉村 千栄
清水 尚美	角田 敏郎	長野 昌子	本田 精志	松本 博和	山瀬 忠吉	上田 貞人	太田 幸伸	白石 勇二
池田 美恵	向田 将央	大木 健太郎	岡田 教人	川本 健太	岡 雄也	一色 昭造	松本 真美	牛山 眞貴子
豊田 克文	梅岡 伸一郎	西泉 彰雄	大濱 祥	大町 一郎	開 忠和	吉田 昭典	佐伯 要	平岡 公明
本田 元広	関 啓三	清水 一郎	関谷 勝嗣	大野 彰久	加藤 節夫	立石 淳	松岡 誠一郎	乗松 秀樹
中山 紘治郎	尾崎 英雄	豊島 吉博	大塚 岩男	石原 実	野中 聰	泉 圭一	河野 賢嗣	渡邊 豊
三浦 公義	久保 素子	戒能 潤之介	井関 和彦	宮部 隆彦	畑野 智司	平井 有年	小坂 真也	福山 勝幸
永原 修	今村 旭	近藤 直子	村上 博	板野 正人	福井 琴樹	片山 雅央	前田 昌一	河合 洋二
矢野 博朗	中富 宣行	唐崎 秀樹	松原 ゆき	西市 裕二	黒瀬 純一	近藤 弘一	松本 善雄	川口 学
隅田 完二	竹田 正明	大崎 修一	中田 忠徳	大西 高史	津田 慎吾	平野 陽一郎	鶴久森 政則	高市 健次
片本 悦央	戸部 英一	久米田 勇二	三浦 宏	佐藤 和夫	加藤 義光	栢田 敏行	石井 賢明	石野 雅昭
船田 元	深代 栄三	土屋 品子	石井 準一	丸川 珠代	岡田 喜久雄	中川 忠昭	石坂 修一	松井 拓夫
關本 逸兵	生駒 正	宮川 昭雄	土居 征夫	鈴木 克昌	宮田 淳	小林 剛	鈴木 信久	前野 俊彦
望月 登	辻本 隼夫	小田 實	中村 孝太郎	田中 政明	瀧口 壽美男	本郷 明義	永井 健利	中村 太一
川畑 省三	上田 貢太郎	池本 直樹	蒲池 春彦	中村 豊志	佐方 年春	小野 悟	西村 忠喜	児玉 義人
下地 幹郎	上治 丈太郎	久米 信行	小高 幹雄	三遊亭円楽	下光 輝一	花岡 伸和	前田 晃	松尾 哲矢
望月 美佐緒	佐藤 黎子	菅原 悟志	南木 恵一	花田 惇	東野 眞理子	町田 光	若林 静子	渡邊 一利

委 員 長

中西 由郎

副 委 員 長

北川 敦史 豊田 義登

委 員

菅 徹 篠崎 英夫 長野 弘猪 山本 重信 大野 彰久 関口 孝則

〔4〕 競 技 役 員

総務委員長

徳永 和夫

総務副委員長

西村 清子

総務委員

相原 真知子 一文字百合子 河原 長夫 河原 千鶴子 森田 博子 清水 安子 泉 美佐子

競技委員長

中川 武久

競技副委員長

矢野 久夫

競技委員

武智 大三郎 武智 紀代子 幸田 小太郎 岡田 勝利 斎藤 靖之 重松 利亨 上甲 由利子 越智 テル子 大本 毅
赤瀬 洋祐 杉村 重勝 山下 博 森岡 香 大野 フミエ 上杉 弘美 山本 重勝 佐野 トヨ子
(記録)
成松 牧子 尾崎 マリ子 玉木 美津子 小野 節子

審判委員長

三好 成雄

審判副委員長

松木 良親 那須 洋

審判委員

藤本 弘志 野田 惣禄 松浦 信高 久米田 寛 池田 恵雄 片上 勝允 熊野 修史 白石 尚徳 宮内 要
木村 竹志 森本 忠義 小池 陸雄 合田 里士 坂東 武信 矢能 弘規 篠浦 健一 篠川 隆 常廣 清隆
越智 健一 鈴木 明正 中川 良夫 西村 雅治 久保 勇 近藤 博昭 篠浦 眞吾 横山 百合子 大野 豊美
森田 美知子 谷口 佐代子 和田 典子 坂東 佳代子 和田 美智子 丹生谷 キヨ子 弓立 眞記子 加藤 京子 加藤 敏江
東 寿美子 進藤 弘子 本宮 弥生 大沢 節子 近藤 幸代 篠浦 悦子 久保 勝子 新谷 盛子 森実 まゆみ
池本 メリ子 濱田 恵子 宇高 妙子 檜垣 陽子 西村 富子 小倉 律子

〔5〕 競技運営要項

1. 本大会におけるすべての競技は、公益財団法人日本ゲートボール連合が発行する公式ゲートボール競技規則 2015・審判実施要領 2015 に準拠して運営する。
2. 本大会に参加するすべての監督および競技者はドーピング検査を受ける可能性がある。
3. インサイドラインの区画は幅5cmのテープを使用し、アウトサイドラインとフリーゾーンの区画はロープを使用する。
4. 大会使用球は主催者が認定品を用意する。
5. 監督・主将の表示マークはチームが用意する。
6. 競技開始前の確認時および競技出場時に統一したユニフォームを着用しない競技者がいるチームは不正出場とし、その競技は没収となり、相手チームの勝ちとする。
7. 競技の没収があった場合は次のとおりとする。
 - (1) 競技の没収についての得点は定めない。
 - (2) 没収より前までの競技の成績はそのままとする。
 - (3) リーグ戦において競技の没収により負けたチームは、それまでの成績にかかわらず、そのリーグの代表になれない。
 - (4) リーグ戦において競技の没収により負けたチームは、この大会において、没収より後の競技に参加することができない。
8. 競技時間等の変更を余儀なくされた場合については実施本部が決定する。
9. 上記1.～8. およびその他の事象が発生した場合の最終判断は実施本部が決定する。

〔6〕 式次第

開始式

9月2日(土) 10:15～10:35

1. 開式通告
2. 国歌斉唱
3. 愛媛県ゲートボール連合会長挨拶
4. 松山市長挨拶
5. 選手宣誓
6. 閉式通告

表彰式

9月3日(日) 13:30～13:50

1. 開式通告
2. 表 彰
3. 愛媛県ゲートボール連合会長挨拶
4. 閉式通告

〔7〕 競 技 日 程

監 督 会 議	9月1日 (金) 15:00 ~ 17:00	北条スポーツセンター体育館
---------	------------------------	---------------

会場	期日	時間	区分	試合数	【男子】	【女子】	
北条スポーツセンター 球技場	【第一日】 9月2日 (土)	9:30 ~ 10:00	チーム受付				
			リ ー グ 戦				
		11:00 ~ 11:30	第 1 試 合	(8試合)	A : B	A : B	
		11:45 ~ 12:15	第 2 試 合	(8試合)	C : D	C : D	
		昼 食					
		13:00 ~ 13:30	第 3 試 合	(8試合)	D : A	D : A	
		13:45 ~ 14:15	第 4 試 合	(8試合)	B : C	B : C	
	14:45 ~ 15:15	第 5 試 合	(8試合)	C : A	C : A		
	15:30 ~ 16:00	第 6 試 合	(8試合)	B : D	B : D		
	【第二日】 9月3日 (日)	8:40 ~ 9:00	チーム受付				
			決 勝 ト ー ナ メ ン ト 戦				
		9:20 ~ 9:50	1 回 戦	(8試合)	M1~M4	F1~F4	
		10:10 ~ 10:40	準 決 勝	(4試合)	M5・M6	F5・F6	
		11:10 ~ 11:40	3 位 決 定 戦	(2試合)	M7	F7	
11:55 ~ 12:25		決 勝	(1試合)		F8		
12:40 ~ 13:10		決 勝	(1試合)	M8			

表 彰 式	9月3日 (日) 13:30 ~ 13:50	北条スポーツセンター 球技場
-------	------------------------	----------------

〔8〕 都道府県別参加人員

地域協議会	番号	都道府県	男子		女子		合計		総計
			監督	選手	監督	選手	監督	選手	
北海道	1	北海道	1	5	1	5	2	10	12
東北	2	青森県			1	5	1	5	6
	3	岩手県	1	6	1	6	2	12	14
	4	宮城県	1	5			1	5	6
	5	秋田県							
	6	山形県							
	7	福島県							
	北関東	8	茨城県						
9		栃木県							
10		群馬県							
11		埼玉県	1	6	1	5	2	11	13
南関東	12	千葉県							
	13	東京都	1	5	1	6	2	11	13
	14	神奈川県							
	15	山梨県							
北信越	16	新潟県	1	6			1	6	7
	17	長野県							
	18	富山県			1	6	1	6	7
	19	石川県	1	6	1	6	2	12	14
	20	福井県							
東海	21	静岡県							
	22	愛知県							
	23	三重県							
	24	岐阜県	1	6	1	5	2	11	13
近畿	25	滋賀県	1	5			1	5	6
	26	京都府							
	27	大阪府			1	5	1	5	6
	28	兵庫県							
	29	奈良県	1	5			1	5	6
	30	和歌山県			1	5	1	5	6
中国	31	鳥取県							
	32	島根県	1	5			1	5	6
	33	岡山県			1	5	1	5	6
	34	広島県							
	35	山口県							
四国	36	香川県							
	37	徳島県	1	6			1	6	7
	38	愛媛県	1	6	1	6	2	12	14
	39	高知県			1	6	1	6	7
九州	40	福岡県							
	41	佐賀県							
	42	長崎県			1	6	1	6	7
	43	熊本県							
	44	大分県	1	6			1	6	7
	45	宮崎県	1	5	1	6	2	11	13
	46	鹿児島県							
	47	沖縄県	1	6	1	6	2	12	14
合計			16	89	16	89	32	178	210

〔9〕 競技会結果 リーグ戦

男 子

グループM1 5コート

対戦都道府県	大分県	北海道	宮城県	奈良県	勝	敗	得点	失点	得失点差	対戦結果	順位
大分県		○ 13	○ 21	○ 14	3	0	48	24	24		1
北海道	7		○ 9	○ 9	0	3	25	41	-16		4
宮城県	5	○ 16		○ 9	2	1	30	38	-8		2
奈良県	12	○ 12	○ 8		1	2	32	32	0		3

グループM2 6コート

対戦都道府県	石川県	愛媛県	島根県	埼玉県	勝	敗	得点	失点	得失点差	対戦結果	順位
石川県		○ 10	○ 9	○ 14	2	1	33	28	5		2
愛媛県	9		○ 8	○ 7	0	3	24	54	-30		4
島根県	○ 12	○ 22		○ 18	3	0	52	26	26		1
埼玉県	7	○ 22	○ 9		1	2	38	39	-1		3

グループM3 7コート

対戦都道府県	岐阜県	岩手県	徳島県	沖縄県	勝	敗	得点	失点	得失点差	対戦結果	順位
岐阜県		○ 19	○ 15	○ 12	3	0	46	29	17		1
岩手県	12		○ 12	○ 19	2	1	43	39	4		2
徳島県	12	11		○ 13	1	2	36	35	1		3
沖縄県	5	9	8		0	3	22	44	-22		4

グループM4 8コート

対戦都道府県	滋賀県	宮崎県	東京都	新潟県	勝	敗	得点	失点	得失点差	対戦結果	順位
滋賀県		11	8	○ 14	1	2	33	43	-10		3
宮崎県	○ 11 内容勝		7	○ 16	2	1	34	36	-2		2
東京都	○ 23	○ 17		○ 11	3	0	51	25	26		1
新潟県	9	8	10		0	3	27	41	-14		4

女 子

グループF1 1コート

対戦都道府県 都道府県	東京都	和歌山県	沖縄県	岩手県	勝	敗	得点	失点	得失点差	対戦結果	順位
東京都		15 ○	8	12 ○	2	1	35	26	9		1
和歌山県	10		9	11	0	3	30	50	-20		4
沖縄県	9 ○	20 ○		8	2	1	37	30	7		2
岩手県	7	15 ○	13 ○		2	1	35	31	4		3

グループF2 2コート

対戦都道府県 都道府県	石川県	岐阜県	大阪府	長崎県	勝	敗	得点	失点	得失点差	対戦結果	順位
石川県		21 ○	12	8	1	2	41	35	6		2
岐阜県	9		9	12 ○	1	2	30	55	-25		4
大阪府	内容勝 ○ 12	23 ○		21 ○	3	0	56	30	26		1
長崎県	14 ○	11	9		1	2	34	41	-7		3

グループF3 3コート

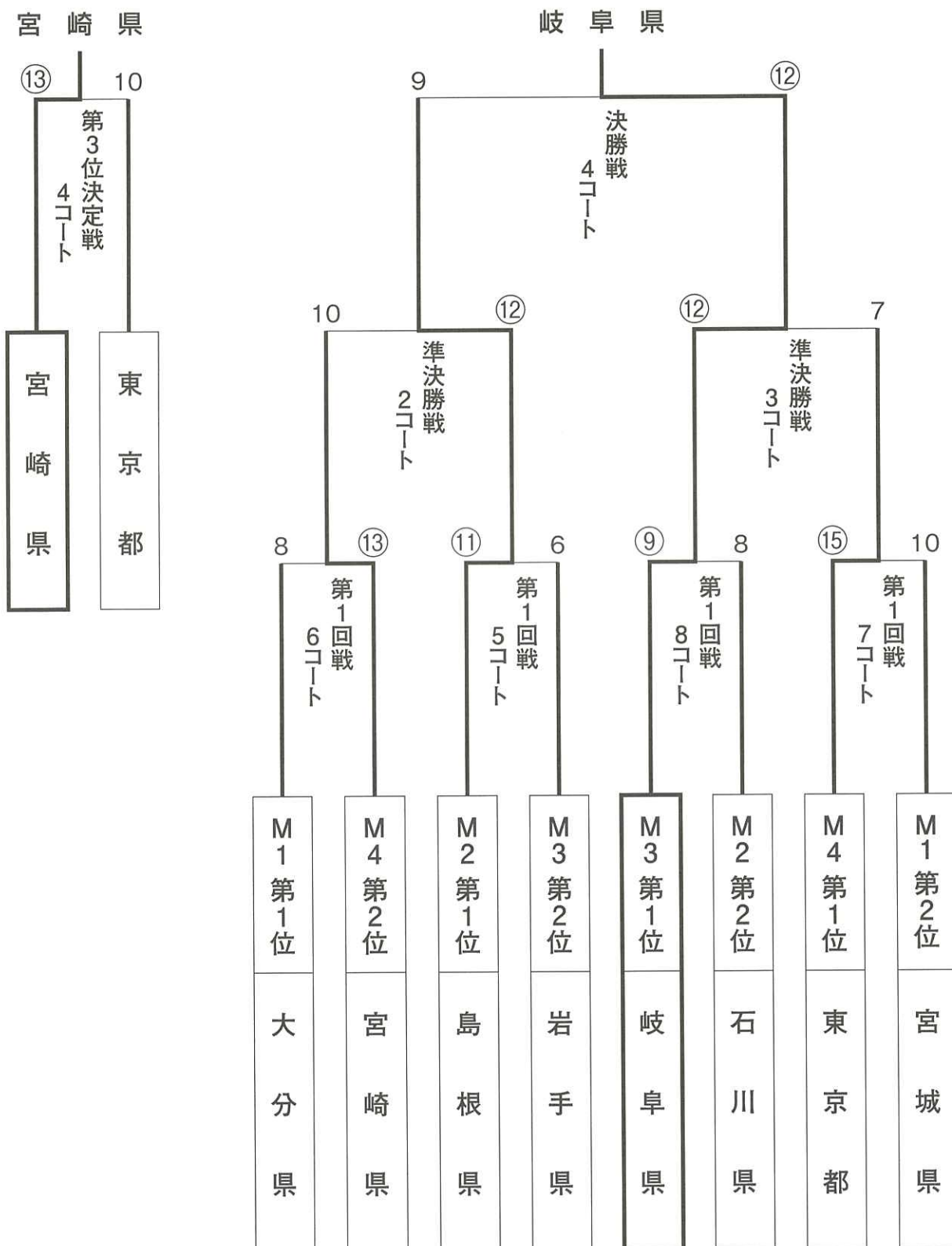
対戦都道府県 都道府県	岡山県	青森県	北海道	愛媛県	勝	敗	得点	失点	得失点差	対戦結果	順位
岡山県		9	18 ○	13 ○	2	1	40	26	14		1
青森県	10 ○		22 ○	5	2	1	37	36	1		2
北海道	9	9		13 ○	1	2	31	49	-18		4
愛媛県	7	18 ○	9		1	2	34	31	3		3

グループF4 4コート

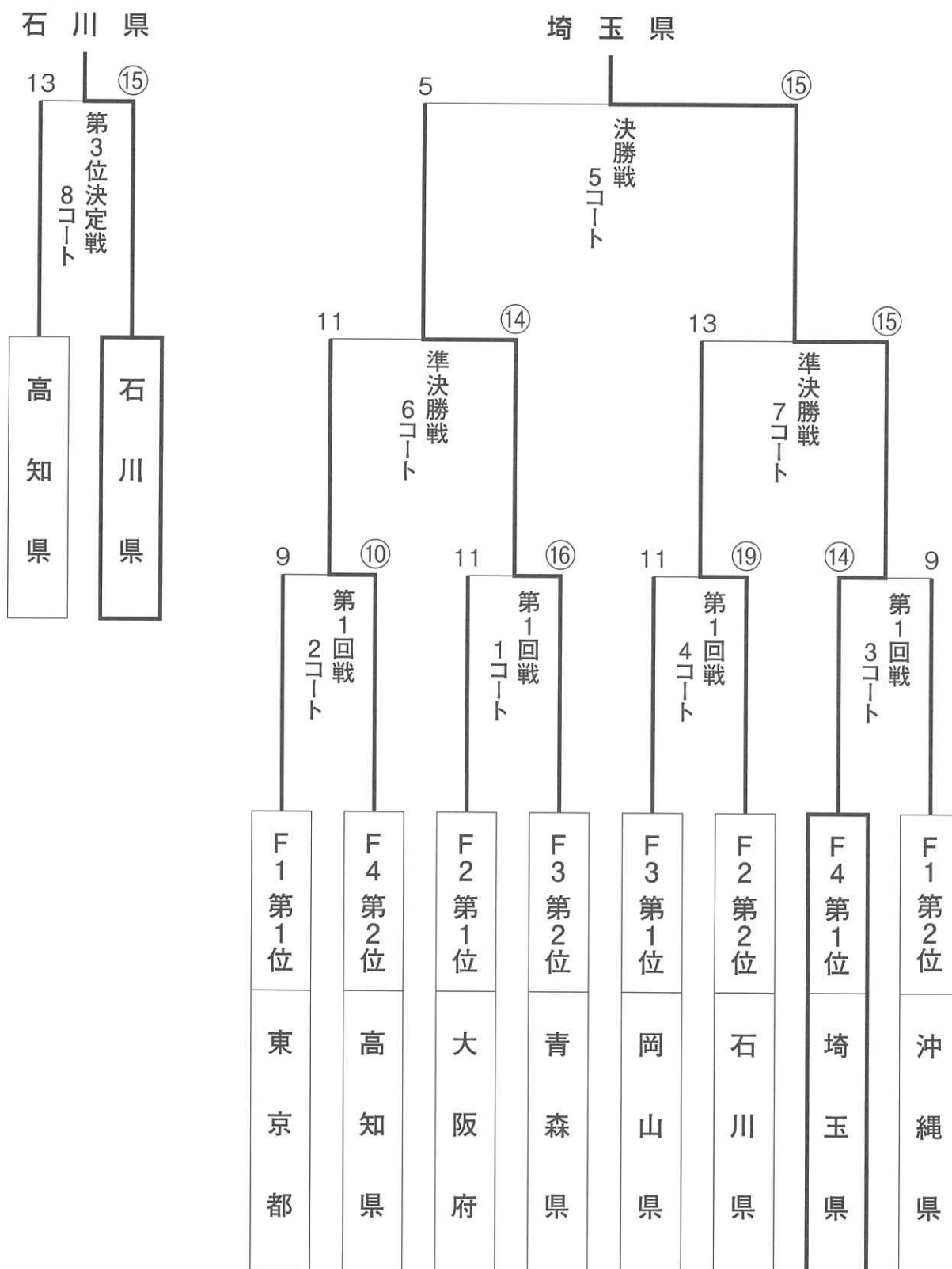
対戦都道府県 都道府県	高知県	宮崎県	富山県	埼玉県	勝	敗	得点	失点	得失点差	対戦結果	順位
高知県		16 ○	12 ○	6	2	1	34	33	1		2
宮崎県	8		8	6	0	3	22	42	-20		4
富山県	9	12 ○		6	1	2	27	37	-10		3
埼玉県	16 ○	14 ○	17 ○		3	0	47	18	29		1

トーナメント戦

男子



女子



入賞者一覧

■男子

順位	都道府県名	人数
第1位	岐阜県	7
第2位	島根県	6
第3位	宮崎県	6

■女子

順位	都道府県名	人数
第1位	埼玉県	6
第2位	青森県	6
第3位	石川県	7

〔10〕 協賛・協力企業各社

株式会社日本レジャーチャンネル

株式会社エイチ・アイ・エス

株式会社本郷

〔11〕 テレビ放送

媒体名：スカパー！（デジタル衛星放送 680ch）

番組名：JLC「スーパーゲートボール」

初回放送日：平成29年 11月4日（土） AM 6：00～6：55

再放送日：平成29年 11月5日（日） AM 6：00～6：55

初回放送日：平成29年 11月18日（土） AM 6：00～6：55

再放送日：平成29年 11月19日（日） AM 6：00～6：55



ゲートボール



9月2~3日

松山市

ゲートボールは9月2、3日の両日、松山市大浦の北条スポーツセンター球技場で行われる。男女別で争い、全国10地域と開催地の愛媛県から各16チームが出場。リーグ戦を突破した8チームが決勝トーナメントを戦う。

北条スポーツセンター 2007年に人工芝のフィールドを1面敷ける。松山インク78号でサッカークラブを1面敷ける。松山インク78号でサッカークラブを1面敷ける。松山インク78号でサッカークラブを1面敷ける。



ゲート三つ通過 中央で「上がり」

競技の見方

競技時間は30分。1チーム5人でスティックを使って交互に打ち合い合計点を競う。先攻が奇数の赤ボール、後攻が偶数の白ボールを打ち、三つのゲートを通過すると各1点、中央のゴールボールに当てて「上がり」と2点で、最大25点を獲得できる。戦術や駆け引きなどチームメートとの連携も重要な要素となる。

出場選手

- 吉岡 哲夫(71)
- 馬生 修(75)
- 【ザ・ひま人】
- 横本 裕子(84)
- 中尾恵美子(75)
- 横本ちよ子(67)
- 稲垣 厚志(79)
- 大内 公子(56)
- 栗田 小虎(66)
- 【今治おんまぐ】
- 藤野 健(75)
- 大沢 忍(79)
- 徳井 邦昭(75)



技術と知略 躍進期す

今治おんまぐ

9月30日に開幕する愛媛国体を前に行われる公開競技。ゲートボール(9月2、3日)を皮切りに、綱引き、パワーリフティング(9、10日)、グラウンド・ゴルフ(16、17日)の計4競技で熱戦が繰り広げられる。公開競技の成績は、都道府県対抗の天皇杯(男女総合)や皇后杯(女子)の得点対象にはならない。振興につなげようと競技団体の主導で実施される。各競技の特色や県勢の代表選手を紹介する。

公開競技紹介

ゲートボール

1打の成否が展開をがらりと変えるゲートボール。テクニックと知略の競技に愛媛から挑むのは、男女とも熟練のベテラン勢だ。男子は今治市で活動するチーム「今治おんまぐ」のメンバー5人が臨む。主将の藤野健さん(75)は小変色に焼けた精神(せいじん)な顔つきで語る。「全国大会には何度も出てきた。代表として恥ずかしいプレーをしない」。同チームで全国大会3位になったこともある。主将の作戦判断が鍵になる競技で、チームメートの人望が厚い藤野さんは「チームワークが良くないと勝てない競技。どんな相手でも勝てないことはない」と躍進を目指す。女子は松山市菟川地区で活動する「ザ・ひま人」の選手。最長で競技歴35年という6人を束ねる主将の横本ちよ子さん(67)は「明るく、くじけないのがチームの取りえ。まず1勝を挙げたい」と晴れ舞台での活躍を思い描く。ご近所さん同士、普段から食事を共にするなど交流は深い。横本さんは「1打で逆転されることもあり、失敗がはっきりしてしまうが、引きずらないようにしたい。気持ちをみんなで盛り上げている。楽しく頑張りたい」と笑った。(柳生秀人)

ザ・ひま人



スポーツ 国体公開競技スタート 23面

晴れ渡った秋空の下、愛媛国体の公開競技第1弾となるゲートボールが2日開幕した。10代から80代までの老若男女が世代を超えて競技に熱中。都道府県対抗の得点対象にはならないが、選手らは「ナイスショット」と声を掛け合いながら白熱の戦いを繰り広げた。





祭典開幕 一足先に

公開競技 ゲートボールで号砲

愛媛国体公開競技の皮切りとなるゲートボールの競技会が2日、松山市大浦の北条スポーツセンターで始まった。

公開競技は計4競フラインは9、10両技。綱引きとパワーリリ日、グラウンド・ゴルフ

フは16、17両日に開催する。ゲートボールは5人一組で自分の球をステイクで交互に打ち合

ボールに当たれば得点が加算され、チームの総得点で勝敗を決める。国体は開催県と全国10ブロックの予選を勝ち抜いた男女各16チーム、計210人が参

加。2日は4チームずつともに予選敗退しつに分かれてリーグ戦を行い、愛媛は男子が3敗で組4位、女子が1勝2敗で組3位

決勝トーナメントは3日あり、各組上位2チームが出場する。

- ▽男子予選リーグ1組 ①大分 勝1敗0和取山3敗
- ②北後道3敗 ③奈良1勝2敗
- ④北海道3敗 ⑤石川2勝
- ⑥埼玉1勝2敗 ⑦愛媛3敗
- ⑧徳島1勝2敗 ⑨岩手2勝
- ⑩徳島1勝2敗 ⑪宮崎3敗
- ⑫滋賀1勝2敗 ⑬新潟3敗
- ⑭女子予選リーグ1組 ①東京 2勝1敗0和取山3敗
- ②勝1敗0和取山3敗
- ③勝1敗0和取山3敗
- ④勝1敗0和取山3敗
- ⑤勝1敗0和取山3敗
- ⑥勝1敗0和取山3敗
- ⑦勝1敗0和取山3敗
- ⑧勝1敗0和取山3敗
- ⑨勝1敗0和取山3敗
- ⑩勝1敗0和取山3敗



④男子予選リーグ石川―愛媛スバーク攻撃で相手をアウトボールにする愛媛・鳥生⑤女子予選リーグ青森―愛媛連続で味方ボールを得点にする愛媛・大内いずれも北条スポーツセンター

県勢 決勝下進出逃す

「1勝できてうれしい」と前を向く女子と、「完敗だ」と唇をかむ男子。愛媛勢はともに予選で敗れたが、試合後の表情は対照的だった。

女子は松山市破川地区で活動するザ・ひまりのメンバーが挑んだ。初戦から2連敗して決勝進出の可能性は消えたが、最終の青森戦は「楽しくいっこ」と声を掛け合った。チーム全員がミスのないプレーを実践。持ち球を他の球に当てる「タッチ」を成功させ、当たった球を自由に動かす「スパーク攻撃」で相手の球を次々と外にはじき出し、18―5と圧勝した。

主将の横本は「今まで頑張ってきた」と満面の笑み。2番手の中尾は「64年前の四国国体は小学生でマスケームに参加した。こんなおぼろちゃんになって、また国

女子 予選1勝に満面笑み 男子 強気の攻め実結ばず

体に出場できるなんてうれしそうに話した。一方、男子は「今治おんまぐ」の選手が出場。初戦の石川戦では「強気で攻める」という主将藤野の方針で、鳥生が距離のあるタッチに成功し、相手の球を三つ連続で外に出すなどして接戦を演じたが詰め切れず1点差で敗退。後の2試合は鳥根に8―22、埼玉に7―22と大差をつけられた。

強豪が集まった国体の舞台で収穫を得た女子に対し、男子は課題を見つけての機会となった。特にメンバーの平均年齢は出場した男子全体より28歳も高い75歳。藤野は「強くなるには20〜30代の若い人にもプレーしてほしい。一打逆転もある本場に面白い競技だから」と、世代を超えた広がりを感じた。(藤田恵)

公開競技 ゲートボール

男子 岐阜・女子 埼玉優勝



愛媛国体公開競技のゲートボール最終日は3日、松山市大浦の北条スポーツセンターで決勝トーナメントを行い、男子は岐阜県、女子は埼玉県が優勝を飾った。愛媛勢は2日に予選敗退していた。予選リーグの各組上位2チームが決勝トーナメントに出場。男子の岐阜県は選手の平均年齢が23歳、女子の埼玉県は34・8歳で、いずれも男女の最年少チームが頂点に立った。

岐阜	東岐島宮	▽男子決勝トーナメント1回戦
▽準決勝	京卓根崎	
1212	159	1113
710	108	688
東宮	宮石岩大	
京崎	城川手分	



男子決勝の審判をする県ゲートボール連合のメンバー＝北条スポーツセンター

高	岐	宮	▽3位決定戦
知	▽決勝	崎	
10	12	13	10
9	9	10	東
東	島	東	京
	根	京	
京青	埼石青		
▽準決勝	▽決勝		
玉森	玉川森		
1514	1419	16	
1311	9	1111	
石高	沖岡大		
川知	縄山阪		
▽決勝	▽3位決定戦		
玉	川	15	13
15	5	高	
青			
森	知		

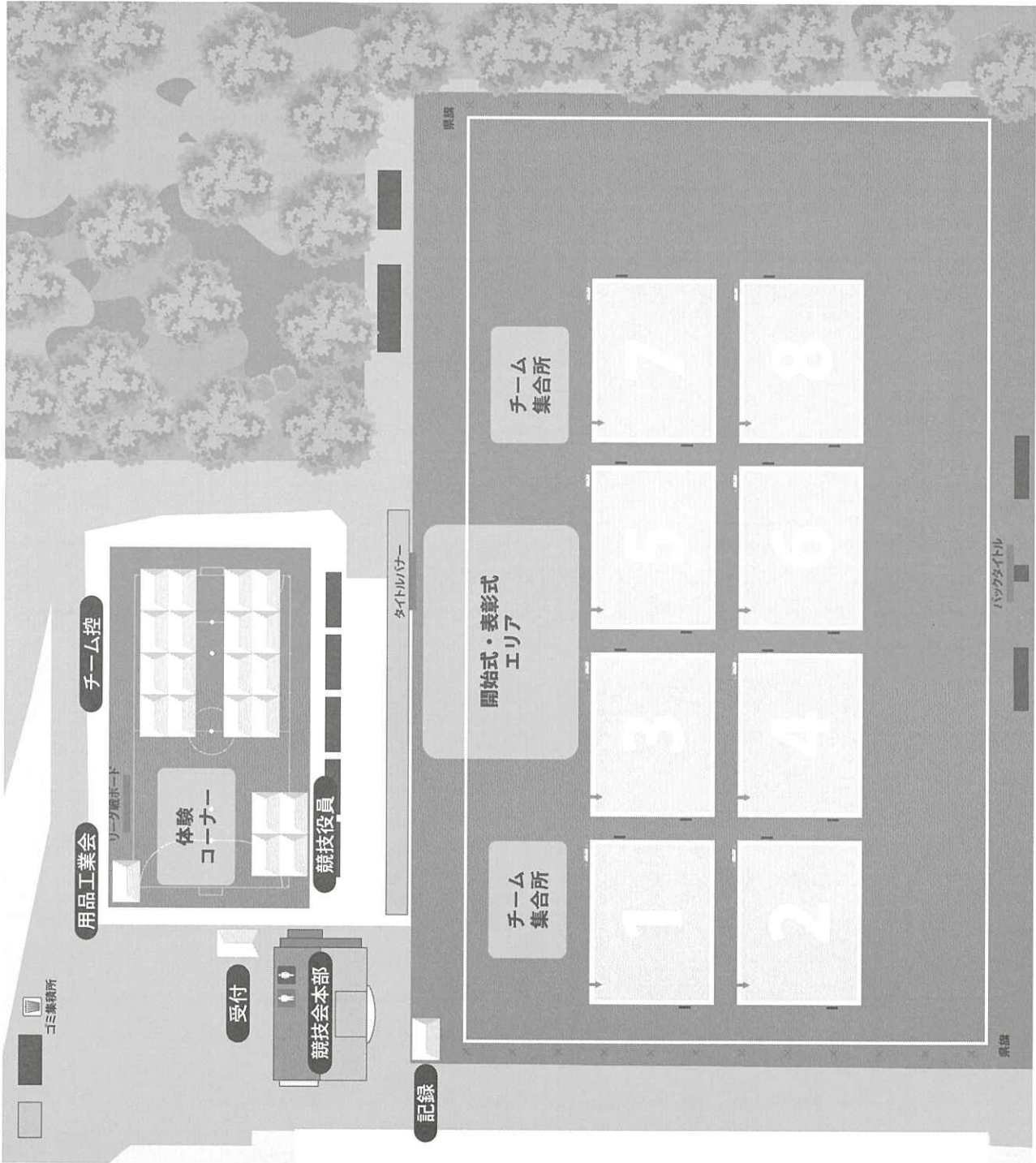
はつらつ 熟練審判団 県連合の100人

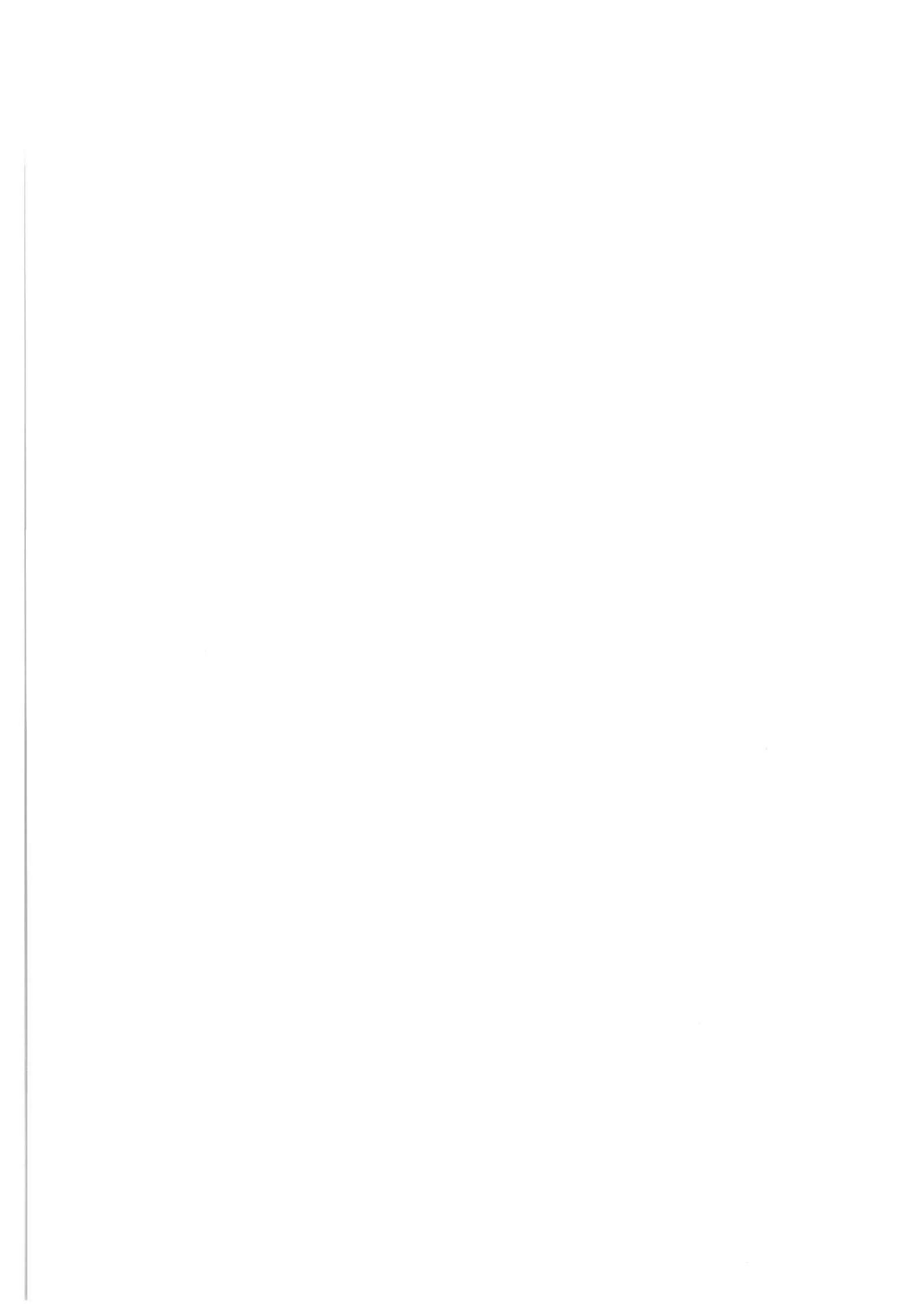
若いチームが躍動した一方、裏方では県ゲ

ートボール連合のベテラン勢が審判員や記録員として汗を流した。県連合から運営に携わったのは60～80代中心の約100人。公開競技は全国の予選を勝ち抜いたチームによる「ハイレベルな戦いのため」「審判の質も求められる」（徳永和夫副理事長）と気を引き締めて臨んでいた。「5番、1ゲート通過」。はきはきとした声と動作で男子の準決勝をシャッジした片上勝允さん（72）ら3人の審判団は「昨年も松山市で全日本選手権を経験し、臆することなく審判ができた」と満足そうに振り返った。男子が小学生から競技を続ける10～20代、女子が高校のゲートボール同好会の卒業生などで構成された若いチーム。片上さんらは「高齢者のスポーツというイメージが根強いが、若い選手も育っている」と強調し「競技人口を増やし、国体の正式種目にするのが関係者全員の願いだ」と力を込めた。小学生への指導など普及に取り組む徳永副理事長（76）は「80歳を超えて活躍する人が大勢いる一方、子どもたちにも普及させたい。レベルの高い公開競技として実施したこと

で、スポーツとしての面白さが伝わったのではないかと話した。（藤田恵）

(12) 会場図





監督会議 北条スポーツセンター体育館

第72回国民体育大会



リーグ戦 組み合わせ抽選会



アンチ・ドーピング研修会



公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構
教育・情報グループコーディネーター 前川 知央 様

公開練習

第72回国民体育大会





愛媛県ゲートボール連合 会長 土居 英雄



松山市長 野志 克仁 様



愛媛県議会議員
三宅 浩正 様



松山市議会議員
田坂 信一 様



松山市議会議員
白石 研策 様



今治市議会議員
岡田 勝利 様



東温市議会議員
相原 眞知子 様



ご来賓の皆様



競技会役員の皆様



選手宣誓 愛媛県 横本 チヨ子 選手 藤本 健 選手



マスコットキャラクター「みきゃん」



愛媛県ゲートボール連合 審判団





表彰式

第72回国民体育大会



愛媛県ゲートボール連合 会長 土居 英雄



女子：第1位 埼玉県



男子：第1位 岐阜県



女子：第2位 青森県 男子：第2位 島根県



女子：第3位 石川県 男子：第3位 宮崎県

入賞チーム 男子

第72回国民体育大会



第1位 岐阜県



第2位 島根県



第3位 宮崎県

入賞チーム 女子

第72回国民体育大会



第1位 埼玉県



第2位 青森県



第3位 石川県



入賞メダル (第1位・第2位・第3位)



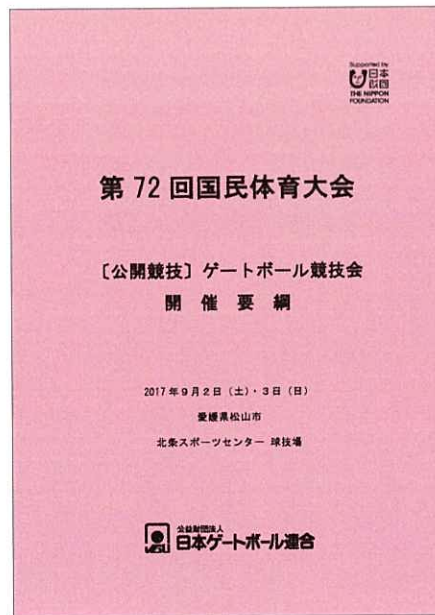
ゼッケン



参加記念章



賞状



開催要綱



競技別プログラム